

SUKIBUKI

いつかスキはブキになる

The public relations magazine of
Kurashiki University of Science and the Arts

アートとサイエンス
融合のススメ。

今、世界が再注目!

新カリキュラム

A & S 教育
ってなんだ!?

予告編

Let's think out of the box!

|スペシャルメッセージ| MESSAGE



あなたの「好き」が
世界を変える、
かもしれない。

プロ経営者 柁野 恵也氏

[東京大学法学部出身]



©くらげいかちゃん

学校法人 加計学園
倉敷芸術科学大学
KURASHIKI UNIVERSITY OF SCIENCE AND THE ARTS

What's New?

私だけの道を進む「スキル」を手に入れよう! A&Sベーシックプログラム【Core科目】

★Core科目のほか、Standard科目、Fieldwork科目として、「五感を使って感じる、知る、考える、表現する」様々なプログラムが用意されています。

これまでの学び

一般的な高等学校などでは、答えが前提にある、受け身型の画一的な授業がほとんどでした……

倉敷芸術科学大学の学び

ユニークなカリキュラムを通して、「好き」と「得意」に磨きをかける大学ならではの専門分野の知識と技能を身につけるカリキュラムに加えて、A&S学習目標に基づいた新しい学びが始まります。

五感を研ぎ澄ます 体験型授業

全16プログラムから一部をご紹介します!



アート表現 [線を描く]



紙や木などに自らの手を使って線を描くことで、素材や道具の触感と出会い、描く感覚を意識しながら「ものを見る」「ものを表現する」ための基本を学ぶ。

サバイバル [キャンプ]



日本のような先進国では便利で清潔な生活が当たり前になっている。最小限の資材と食料でキャンプ生活することによって自動的なサバイバル技術の大切さを体得する。

発酵サイエンス [酒づくり]



麹(こうじ)を使った酒づくりの工程に触れながら、微生物の働きや栄養などの科学的側面と酒をはじめとする発酵食に関する歴史・文化的側面について学ぶ。

クリティカル 思考入門



同一事象に関する複数の新聞の記事を読み比べ、要約することにより、ファクトチェック(情報・ニュースや言説が事実に基づいているかどうかを調べること)の態度を養う。

五感学



五感の一部を強制的に遮断することによって他の感覚が鋭敏になり、行動や表現に強い影響を与えることを学び、人間がもつ創造力の可能性を知る。

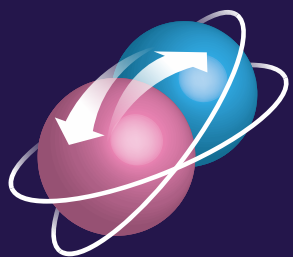
ライフ・ビルディング



EQという概念を使って、自分に気づき、自分を活かすための手法を学ぶことで、納得のいく人間関係、大学生活、キャリア形成のためのノウハウを習得する。

A&S教育

倉敷芸術科学大学の 新カリキュラム



異なる領域の思考を、**越境・回遊・融合**させることで固定観念にとらわれない『柔軟な思考力』や『独創的なアイデアを生み出す力』を育む教育です。

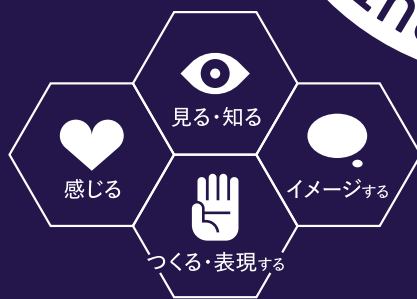
主観・直感など

アートの思考



科学的思考

客観性・論理など



2024 START!

2023年度より一部先行スタート!

倉敷芸術科学大学の全学部学科(芸術学部/生命科学部)で、A&S学習目標、A&Sラーニングメソッド「STYLE」、A&Sラーニングフローで構成された独自のカリキュラムが始まります。

A&S教育の“A(アート)”とは?

その概念は広く「芸術(ビジュアルアーツ)」「教養(リベラルアーツ)」「人文学(ヒューマニティーズ)」を意味します。絵画、音楽、演劇などの芸術作品を指すだけでなく、人間が生きていくための知恵、哲学や、人間性を大切にするという思想も含まれています。

A&S TOPICS

融合のススメ。

AIの進化 < 人間の創造力(アートの思考)

アートのアプローチである「五感を使って知覚する」「鑑賞する」「対象物の特性をつかみ取る」「意味を昇華する」「3次元でイメージする」などのスキルは、研究者に新しい発想をもたらす、観察力の向上に有用だとされています。またAI技術がどれほど進化しても、人間の創造力は代替できないとも言われています。自分なりの発想を膨らませるアート思考のトレーニングは、物事を多面的に捉える視点を養い、ロジカル思考だけでは得られなかった新たな発見をもたらす可能性があります。

絵画だけじゃない! ダヴィンチこそA&Sの申し子!?

アートとサイエンスは文系・理数系というように、能力の特性として分断されているかのように、分野を越えて偉業を成し遂げた人たちは多く存在します。レオナルド・ダヴィンチは『モナ・リザ』『最後の晚餐』など、芸術作品のイメージが強くありますが、ルネサンス期において解剖学・天文学・土壌工学・光学・流体力学などの分野で、当時の知識を大きく前進させています。解剖学者としての彼のデッサン力、骨の構造の緻密な描写は、熱心な観察と考察による科学的アプローチなくしては生み出されなかったでしょう。本来、芸術と科学は相反するものではなく、互いに影響を与えあい高めあうものです。

未来をサバイブするための人間力を手に入れる!

問題に対して異分野のメンバーで構成されたチームで取り組むと、それぞれの思考方法が組み合わせられ、柔軟な発想が出やすく課題解決が早くなると言われています。アートとサイエンス双方のアプローチを修得することで、型にはまらない自由な発想力を培い、応用力や課題解決能力が鍛えられます。それは、次代を生き抜くために必要な人間力にも通じるのではないでしょうか。

デザインは『論理』・アートは『自由』

「デザイン思考」はデザイナーの思考で、他者から与えられた課題に対して、共感→リサーチ→分析→シンセサイズ(統合)→ビルド(組立)→テストという一連の思考法です。「アート思考」はアーティストの思考で、自ら課題を発見し、既存概念や固定観念に捉われず自分なりの発想を自由に膨らませて表現する手法です。科学技術の発見・進化にアートの感性と画期的なデザインを融合させて、「人間のため」に何かを生み出せる力として、どちらの思考も今後ますます重要になるスキルです。

INTERVIEW



作品名「さきやか」



芸術学部デザイン芸術学科4年
板野尚美さん
岡山県立総社南高等学校 出身
instagram: nom__glass

アートの発想を科学的視点と技術で見事に具象化! 何気ない投稿が鬼バズりした作者の板野さんに話を聞きました。

3.8万 いいね
7,377 リツイート

— ガラスと知って驚きました! 作ったきっかけを教えてください。
デザイン芸術学科の1~2年次は全ての分野を学んで、3年次からは進みたい分野を選びます。ガラスを専攻して初めての課題として作りました。海外に吹きガラスで縦長の袋を作っている作家さんがいて、ガラスに見えなくて面白いな~とずっと心に残っていました。昔から「素材を別の素材に見立てる」のが好きで、あの表現はガラスと相性がいいのだらうと感じていてひらめきました。

— 絶妙に小さいのに本物に見えるところが不思議です。最初は2kgのものを作ったのですが、先生からいろんなサイズがあっても面白いんじゃない? と言われ、極端に小さいサイズを作ってみたらどうなるんだろうと思ったんです。



— ガラスをどう加工して作っているのですか?
石膏型にガラスを入れて電気炉で加熱して溶かし込み、原型と同じガラスを形成するキルンキャストという技法です。石膏型から外したら研磨して仕上げるのですが、光の透過や屈折を考えながら研磨する部分を細かく変えて、より本物の袋に見えるように工夫しています。ガラスの成分による特性の透明であることや、成形の自由度の高さなどが生かされていると思います。

— どんな風に反響が広がっていったのでしょうか。
友人が作品を買ってくれて、本人は何気なくツイートしただけなのに、写真と文章が良くて広まったみたいです。東京のギャラリーから声がかかったり、別のギャラリーからはある作家さんと一緒に展示させてもらえないかと提案をいただいたり。置いた先でつながって広がって……自分の力だけじゃこんな風にはならなかったのが、縁に生かしてもらっていると実感しています。

— これからのビジョンはありますか?
この先、社会に出て仕事はもちろん結婚とか出産とか……私は人間としても楽しく生きて! やりたいことはやりたい! というのがあるので、そのあそばいを模索しながら、これからも作品づくりはコツコツ続けていきたいと思っています。

次代のフロントランナーを養成!

倉敷芸術科学大学はアートとサイエンスが繋がる大学

教育始まる。
&サイエンス

西日本
初

アート

芸術学部

芸術学科 (仮称)

- アートコース (仮称)
- メディアデザインコース (仮称)
- 先端メディアコース (仮称)

※2024年4月開設予定(設置構想中)であり、掲載内容は変更になる場合があります。

生命科学部

生命科学科

- 生命化学コース
- 臨床工学コース
- バイオコース

生命医科学科

動物生命科学科

健康科学科

- 健康・運動指導者コース
- アスレティックトレーナーコース
- 救急救命士コース

MESSAGE

|スペシャルメッセージ|

あなたの「好き」が
世界を変える、
かもしれない。

プロ経営者
———
柘野 恵也氏

Spiber株式会社執行役員、学校法人 広島加計学園 英数学館小・中・高等学校広報部長を兼務。東京大学法学部卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニーにてグローバル企業の経営課題解決に従事。日本発のスタートアップ企業へ参画(ライフネット生命、TOOT等)、プロ経営者としてのキャリアを積む。会社経営における組織開発、および自身の子育て経験から「国際バカロレア」への関心を深めて英数学館広報部長を務める他、PBL教育の普及にも取り組んでいる。著書に『人生をはみ出す技術』(日経BP)



人類は、新しい時代に入りつつあります。そう言われ始めてから、かなり長い年月が経ったはずなのですが、日本の教育観とか職業観は、まだまだ昭和から抜け出せていないように私は感じます。特に、地方では。みなさんもそう思いませんか?

今の高校生は、YouTubeやTikTokなど、自分が好きな動画や音楽を自分で選んで視聴し、さらには自分から発信するのがツラいよね、っていう人が多いでしょう。そしてその感覚は、実は世界中の多くの国で、だいたい同じなんです。しかもたまに、全世界でバズるような話ってありますよね。今や人類は、歴史上あり得なかったレベルで、“地球市民”になりつつあります。

しかし、残念なことにこの感覚は、年配の方であればあるほど、共感されません。お年寄りだって、スマホを使いこなさず、LINEで孫とチャットしていますが、それは昭和なら固定電話でやっていたようなコミュニケーションの代替に過ぎません。

新人類は、自分の「好き」を、知らない人たち(世界)と直接やりとりしながら、地球規模のコミュニティで生きています。機械やAIの進化のおかげで、今ある仕事の半分

がなくなった後の世界で、みなさんが生き抜くための最大の武器は、みなさんの「好き」になっていきます。それは、都会でも地方でも、日本でも海外でも、どこでもそうなります。

世代が変われば パラダイムシフトする

「それでも地球は回っている。」

400年前のイタリアで、ガリレオが宗教裁判の際にそうつぶやいた当時、世間は天動説を信じきっていました。それから世の中がひっくり返って、地動説が一般的になったのですが(パラダイムシフト)、実はそれって、古い科学者たちが新しい事実などに論破されてガラッと考え方を変えた訳ではないんです。何十年も経って、世代が入れ替わっただけ、古い常識に凝り固まっていなかった新しい世代が多数派になったに過ぎないのです。

次代のフロントランナーとなるみなさんが、自分の「好き」を「武器」に、新しい時代を切り拓いて下さることを楽しみにしています!

